
転生先はペガサスの息子!?

駄々っ子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

転生先はペガサスの息子！？

【Nコード】

N9033Z

【作者名】

駄々っ子

【あらすじ】

デッキ構築中に寝てしまった俺は突如、別人として生まれ変わる。その転生先は？

この小説には一部効果を変えたカードが出てきます。
シンクロはリクエストであれば出します。
基本的には2つのデッキを使います。
ペガサスの息子だからって暴走します。

エクスィーズ召喚！！

~~~~~

~~~~~

~~~~~

## プロローグ（前書き）

この小説は作者の趣味100%であります。  
そのため文が酷くなっています。  
それでもいいという方のみお進みください。

## プロローグ

俺の名前は■■■■だ。

高校3年生にもなって遊戯王をやっており、実力は中の下もいいところであった。

そして俺はデッキリ構築中に寝てしまった。

そんな俺の前には今、

土下座している人がいる

白いつなぎ目のない服に白い髪、杖みたいなものを横に置いて土下座している。

『あの～?』

とりあえず話しかけてみよう

「このたびは真に・・・ブツブツ」

『え!?! いやだから』

「スイマセンデシター!」

『いや、だから何!?!』

そろそろ話し聞けよ・・・

「どうか、どうか他の神にだけは・・・」

プツン

何か切れる音がした  
話し聞けよゴラァ!

~~~~~O★H A★N A★S H I★中~~~~~

『はい、もう一回目的をゆっくり話せ』ツヤツヤ

「私のミスであなたを間違って殺してしまったので謝罪をしに来ました。」

ボコボコになっている神が言う。

『ふんふん』

「このまま輪廻の輪に入れ手しまうと後々問題になるため転生させに来ました。」

テンプレだな。

『よし分かったじゃあ俺のデッキ2個と一緒に遊戯王(初期)の世界に転生させろ』

「分かりました。あなたのカードをそのまま入れると問題になるため少々変えさせていただけますのでご了承下さい。」

『あ、後性別は変えるなよすがに女とかは嫌だから』

「はい。では2度目の人生お楽しみ下さい」

突然俺の下に大穴が出来た。これってテンプレだな

『!?!?』

落ちるのは意外と怖いんだが

『覚えてろよーーー』

プロローグ（後書き）

1週間に1回を目指します。
状況説明少ないな・・・

紹介

■■■■ (男)

遊戯王が大好きな青年。

ベランダにあったカードを拾ったのがきっかけで始めた。

最初は弱かったがストラクチャーデッキの恐竜族デッキを改造してからはまあまあ強くなった。
ずるは絶対許せない性格。
相手が認めるまで許さない。

使用デッキ

・エヴォル

純粋なエヴォルデッキ。

勝率は7割。

切り札はエヴォルカイザーソルデ

フェイバリットカードはバーニングブラット

強欲な欠片はこの世界では壺に変えている。

・機甲忍者

大体、渋い忍者からコンボが始まる。

しかしこちらはほぼファンデッキ。

大して強くない。

勝率は3割

~~~~ココからネタバレ~~~~

ペガサス・j・ライア

(元■■■■)

ペガサスの一人息子。

エジプトで謎のカードと共にペガサスに発見された。

そのころは赤ん坊でありペガサスはなるべく教えたくない。

成長した時ペガサスから《エヴォルシリーズ》、《機甲忍者シリーズ》

を渡された。

性格は無口、しかし、切り札を出すとしゃべりだす。

## 転生初日（前書き）

早速たくさんのアクセスが・・・。（涙）  
みなさんありがとうございます。ではどうぞ

## 転生初日

どうやら転生に成功したらしい。

早速テンプレどうりに言ってみるか。

『だぶう（知らない天井だ）』

・・・だぶう？

もしかして俺縮んでいるのか？

後、知らない天井とかいったが真っ暗で何も見えない。

どうしてこんなところにいるんだ？

まずいぞ、このままではどこか知らない場所で野垂れ死んじまう。

それだけは回避したい「What!？」

ん？明るくなってきた。誰か来たのか。

「捨て子ですか？この遺跡に。」

なんだろうこの高い声どこかで聞き覚えがあるぞ。

後今遺跡つったな。てことはここエジプトとか？

「可哀想に、私が預かりましょう。  
おや？この絵は一体？」

「デュエルモンスターカードのようですが・・・、不思議な赤ん坊  
ですね。」

！？さてよ。遺跡好きで、デュエルモンスターカードを知っていて  
こんな高い声を出す奴は俺は1人しか知らんぞ。  
こいつ

ペガサス・J・クロフォードじゃねえか！！

と、同時に俺はいきなり眠くなり意識が途切れた。

ペガサス side（一部英語でお送りします）

私たちは最近、いきなり出来たという遺跡の調査に来ていました。  
中身は普通の遺跡とほぼ同じ、特に不思議な点はないと思いましたが、

遺跡の奥に進むとそこには

1人の赤ん坊がいました。

「What!？」

思わず声が出てしまいました。  
しかし

「捨て子ですか？この遺跡に。」

そうここは最近いきなり出来た遺跡、よっぽどの人でもない限りココに人はこないはず。

そしてこの赤ん坊、一体どうしましょうか？

孤児院に送るのはかわいそうですし、かといって他の探検隊の人はみなすでに家族がいて

子供もいるというのに、

そうです！私が預かればいいのです。

「可哀想に、私が預かりましょう。」

おや？この絵は一体？」

赤ん坊を抱き上げるとその近くに何か絵の書いてあるものがありました。

持ってみてみると、それは私の作ったカードにそっくりでした、しかし

「デュエルモンスターカードのようですが・・・、不思議な赤ん坊ですね。」

こんなカードは見たことがありませんでした。

何故の遺跡にいたのでしょうか、何故こんなカードを持っているのでしょうか

そんなことを考えていると赤ん坊が寝てしまいました。

フッフ寝顔もかわいいですね。

## 転生初日（後書き）

こんなテンプレどうでしょうか♪

『全然問題ないですよ』

## 時間がたち

どうも、ペガサス・J・ライアです。

アレから7年ほどたちました。ちなみに名前の由来は弦楽器であるライアーからきてます。

父さんは俺を拾ったってことをなかなか話さない。そりゃためらうような、

俺が3歳のころ父さんは俺にデュエルを教えてくれた。しかし、低レベルであったことからココはアニメ版だろうと想像できた。

今日は、父さんに部屋に呼ばれた。一体何なんだろうか。

コンコン

「はいりなさい」

いつにもなくまじめな声だな。

『父さん。用って何?』

「ライア・・・今日はあなたにいうことがあります。」

『.?』

「実はあなたは私の実の子供ではありません。」



『!』

ココでいつてくるのか・・・

そして父さんは俺を謎の遺跡で拾ったことを話してくれた。

父さんは泣きながら

「騙していてすみません。」

そういった。

だけど俺は

『泣かないでよ・・・』

怒ろうなんて思っちゃいない。  
だって

『父さんは僕を拾って育ててくれたじゃないか・・・。実の息子とか関係ないよ』

「ライア・・・」

そして3分ほど抱き合った。

あ、変な意味じゃないからね？

「ライア、あなたに渡すものがあります。」

そういつて父さんはカードをくれた。

『こ、これって・・・』

そう、父さんがくれたものは

「あなたがいた遺跡にあったものです。」

『【エヴォル】に【機甲忍者】』

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9033z/>

---

転生先はペガサスの息子!?

2012年1月13日19時59分発行